

東京電機大学同窓会

令和7年度第1回幹事会議事録

会議開催日時	令和7年5月31日（土）10:00～12:15
開催場所	遠隔会議
出席者	福澤 智、三井 和幸、坂田 一也、相川 昭仁、小島 一記 福嶋 邦夫、金築 律夫、秋山 秀和、北田 博雄、加藤 綾子 江頭 勇、連記 宏徳、綿本 智、布谷 英伸、本間 章彦 高田 英久、小林 宏史
新幹事	山崎 宏文、竹内 勇夫、河野 恒義、清水 洋佑、武井 裕輔
(順不同、敬称略)	(計22名)
配布資料	2025体制および組織案資料、イベント支援募集案内資料
議事内容	司会/議事進行：坂田 一也 記録者：総務委員会 江頭 勇

坂田一也幹事（副会長）の司会により、以下の審議を行った。

1. 会長挨拶 <福澤会長>
今年度から会長となった就任挨拶と共に、改めて幹事に協力依頼があった。
2. 幹事等の承認 <福澤会長、坂田副会長、江頭総務委員長>
坂田副会長より、今年度も継続となった幹事（以下21名）の紹介があり、全会一致で承認された。

福澤智、三井和幸、坂田一也、北村要、相川昭仁、本橋光也、小島一記
福嶋邦夫、金築律夫、秋山秀和、北田博雄、松村晃司、加藤綾子、江頭勇
連記宏徳、綿本智、熊谷正樹、布谷英伸、本間章彦、高田英久、小林宏史

続いて、江頭総務委員長より、新幹事（以下5名）の紹介があり、全会一致で承認された。

山崎宏文 短期大学 電気科第二部（1986年3月卒業）
竹内勇夫 工学部第一部 電気工学科（1982年3月卒業）
河野恒義 大学院工学研究科修士課程 情報通信工学専攻（2010年3月修了）
清水洋佑 未来科学部 情報メディア学科（2019年3月卒業）
武井裕輔 大学院先端科学技術研究科 先端技術創成専攻（2021年3月修了）

続いて、福澤会長より、松崎前会長の参与推挙があり、全会一致で承認された。

続いて、福澤会長より、昨年度で退任した幹事（以下4名）の顧問（任期2年

2期) 推挙があり、全会一致で承認された。

早水俊樹、野島謙之助、高見澤計夫、大舘昌男

3. 前回議事録の確認 <総務委員会 江頭委員長>
昨年度の第8回議事録の内容について説明があり、全会一致で承認された。

4. 同窓会活動の近況報告 <福澤会長>
福澤会長より、学園や支部等の行事出席について、以下の通り報告があった。

- 5月20日(火) 校友会定例理事会出席
- 5月24日(土) 神奈川県支部総会出席、懇親会参加
- 5月31日(土) 中高同窓会総会出席、二十歳の祝い参加
- 6月07日(土) 校友会社員総会出席、懇親会参加
- 6月14日(土) TE縦の会出席、定時総会出席
- 6月17日(火) 学園評議員会出席、新旧評議員懇談会参加
- 6月21日(土) 千葉県支部総会出席
- 6月28日(土) 教職校友会出席、定時総会出席

5. 新体制の説明 <福澤会長>
福澤会長より、新体制について、以下の通り説明があった。

①体制および組織の見直しに関する主な変更点

- ・委員会とプロジェクト(PJ)の関係明確化
委員会とプロジェクトの関係を明確にして、組織の管理体制を強化するためプロジェクトは委員会の配下に位置付ける。
- ・事業委員会の復活
委員会とプロジェクトの関係を整理する施策の一つとして、現在休会中の事業委員会を復活させる。
- ・DX推進委員会の新設
昨年度のDX化検討委員会で検討した結果を受けて、新たにDX推進委員会を設置してデジタル化の推進を図る。
広報IT推進委員会のITに関わるミッションを当委員会に移譲して、名称を広報委員会に戻す。
- ・校外研修会の名称変更
「校外研修会」を「校外交歓会」に変更して、活動領域を広範囲に適用する。

②新体制および組織案

定時総会で承認された新体制(役員)と組織案(委員長・副委員長)について以下の通り説明があった。

・ 役員構成

会長 福澤
副会長 三井、坂田、北村
会計 本橋、相川
会計監査 福嶋、小島

・ 委員会構成 委員長 副委員長

事業委員会 金築 秋山
広報委員会 松村 加藤
在学会員支援委員会 北田 未定
総務委員会 江頭 連記
DX推進委員会 山崎 未定

・ 委員会 配下プロジェクト 統括担当役員

事業委員会 東京江戸歴史散歩、校外交歓会 北村副会長
広報委員会 オンライン写真展、似顔絵コーナー 三井副会長
在学会員支援委員会 OB・OG交歓会、仕事研究セミナー 三井副会長
総務委員会 定時総会・講演会 坂田副会長
DX推進委員会 立ち上げ直後のため次年度以降検討 坂田副会長

・ 運営委員会（旧拡大役員会）の設置

幹事会のスムーズかつ効率的な運営を目的として、運営委員会を設置する。構成メンバーは、役員、会計監査、委員長とする。委員長が出席不可の場合副委員長の代理出席を可能とする。また、委員長の推薦で、配下プロジェクトリーダーの参加を認める。

6. 運営方針の説明

＜福澤会長＞

福澤会長より、運営方針について、以下の通り説明があった。

- ・ 幹事は、いずれか1つの委員会に所属する（兼任不可）。
- ・ 委員長、副委員長、PJリーダーは、原則として、別の人物が担当することが望ましいが、状況により兼任可能とする。但し、役員会の承認を必要とする。
- ・ PJメンバーは、従来通り幹事全員から選任して、原則として1人2PJ以上の参加を想定する。
- ・ PJリーダーの役職要件については、特に制限を設けない。

* 山崎幹事が、運営委員会について質問して、会議体を指すことを確認した。北田幹事が、運営委員会の位置付けと在学会員支援委員会・副委員長の早期決定を要望した。

7. 委員会紹介

各委員長より、委員会の役割や活動について、以下の通り紹介があった。

- ① 事業委員会 ＜金築委員長＞
委員会の復活と、主なミッション（同窓生の絆を深める交流の場の創造、伝統と革新による同窓会の活性化、参加者の声に耳を傾け常に進化）の説明があり過去のプロジェクトとして、校外研修会と東京江戸歴史散歩の紹介があった。これから、校外交歓会と東京江戸歴史散歩の開催計画を立てていくことが報告された。委員会活動を通じ、同窓生が同窓会の一員である喜びを感じ、誇りを持つ同窓会を創り上げていく。
- ② 広報委員会 ＜加藤副委員長＞
ITに関するミッションをDX推進委員会に引き継ぎ、情報発信に特化した活動となる説明があった。オンライン写真展プロジェクトと旭祭で開催する似顔絵コーナープロジェクトについて、紹介があった。多くの卒業生に同窓会の活動内容を周知して会員同士の親睦を深めるため、SNSやウェブサイトを活用したコミュニケーションによる、情報発信活動を強化していく。
- ③ 在学会員支援委員会 ＜北田委員長＞
実施する事業は、大きく分けて「委員会事業」と「プロジェクト事業」がある。委員会事業は、イベント支援（1期/6月末、2期/9月末、3期/12月末）優秀学生団体表彰（旭祭・鳩山祭で丹羽賞・同窓会奨励賞の授与）、優秀学生団体表彰（定時総会で同窓会会長賞・同窓会特別賞の授与）、TDUアイデアコンテストの審査（同窓会賞の授与）があることが説明された。プロジェクト事業としては、OB・OG交歓会プロジェクト、卒業生による仕事研究セミナープロジェクトがあることが説明された。在学会員と同窓会をつなぐ活動を強化していく。
- ④ 総務委員会 ＜江頭委員長＞
同窓会運営を下支えしており、主な役割として、事務全般の対応（委員会との連携）、定時総会や幹事会の運営、同窓会ホームページの管理、新人向けオリエンテーションの実施、歴代会長会の開催が説明された。デジタル化で効率化や情報共有の円滑化などを目指していく。全幹事と協力して、定時総会と公開講演会を滞りなく遂行して、会員同士の親睦を深めると共に、同窓会の円滑な運営に繋げていく。
- ⑤ DX 検討委員会 ＜山崎委員長＞
同窓会運営の効率化や利便性向上のための仕組みを検討し、実装を進める。誰でも簡単に使える形をゼロからチームで考えて形にしていく。相手を尊重する「ブレインストーミング」を中心に進めていく。学生にも入ってもらい、フラットな関係で一緒に進めたい。新しいアイデアの創出を重視して、同窓会運営のデジタル化・DX化を推進していく。

* 総務委員会より、所属希望の委員会とプロジェクトに関するアンケートをグループフォームで実施することが報告された。回答期日は、6月14日とする。

7. 委員会・プロジェクトの報告

<各委員長>

① 在学会員支援委員会

<北田委員長>

令和7年度の在学会員活動支援の募集について説明して、年度内に同じ学生及び団体への支援を1回限りとする新規規則を提案した。支援対象は、大学の知名度向上に寄与する活動で、クラブ活動、研究活動、競技会出場、ボランティア活動等が含まれる。申請は年3回（6月、9月、12月）受け付け、支援額は最大10万円となる。支援金の申請ルールについて議論が行われた。新規規則では、特別な場合、幹事会の承認により増額可能と説明された。大学の知名度向上に寄与する活動という基準の重要性が強調され、申請書の改善や委員会で更なる検討が必要であることが確認された。

② 総務委員会

<江頭委員長>

交通費と食事代の支給方法の変更について、報告があった。

- ・ 幹事会等のリアル参加者に一律1,000円を支給していたが、今後は、実費を支給する。支給金額は、経路探索システムで自宅からの最短・最安値とする。2つ以上の都道府県をまたぐ場合は、急行・特急・夜行バス等の使用も可能とする。
- ・ 食事を提供する場合は、リアル参加者に1,000円程度の食事を手配、食事を提供しない場合は、リアル参加者に一律1,000円を支給していたが、今後は昼食時間をまたぐ場合および18時以降の場合は、リアル参加者と遠隔参加者の全員に、一律1,000円を支給する。
- ・ 支払いは、その都度の現金支払いだったが、今後は、総務委員会が出欠を管理して「指定の銀行口座」に「年2回の振込み」とする。
- ・ 今年度は、試行的な運用として、不具合があれば適時修正していく。規則化については、今後の検討課題とする。

8. その他

- ・ 第2回幹事会：2025年6月21日（土）15:30～16:30

以上